

2023年10月10日

日本 BD、臨床用フローサイトメーター用の検体前処理装置 「BD FACSDuet™ 自動サンプル調製システム」の発売を開始

日本ベクトン・ディッキンソン株式会社（本社：東京都港区）は、臨床用フローサイトメーターを用いた細胞検査のための自動検体前処理装置 「BD FACSDuet™ 自動サンプル調製システム<洗浄機能付き>」（以下、BD FACSDuet™ 洗浄機能付き）の発売を10月6日に開始した。これにより、臨床用フローサイトメーターを用いた細胞検査のさらなる自動化が実現され、検査の標準化と、業務の効率化が期待されることとなった。

白血病・悪性リンパ腫の診断や治療後のモニタリング、病型診断および治療効果の把握に欠かせないのが細胞解析装置のフローサイトメーター。なお、これらの疾患についての正確な検査結果を得るためには、検体の洗浄ステップなど多くのマニュアル操作が必要となり、そのために前処理工程での技術者間の差異によるばらつきを最小限化することが、近年の課題とされていた。

この度、発売を開始した 「BD FACSDuet™ 洗浄機能付き」 は、既存モデルの「BD FACSDuet™ 自動サンプル調製システム」 に遠心機能と洗浄機能が内蔵された装置で臨床用フローサイトメーターの「BD FACSLyric™ フローサイトメーター」と連携させ、検体の洗浄が必要な検査においても、検体のセットから検査レポートまで、一度も手を触れる必要のない細胞検査の完全自動化を実現でき、これまでの課題であった技術の差異や人的エラーのリスクを軽減し、再現性の高い結果を得ることができる。また、この自動化によって、感染リスク、コンタミネーションリスクも軽減され、トレーサビリティを確保するワークフローの標準化も可能となる。

日本 BD では、フローサイトメーターのパイオニアとして、これからもロボティクス技術を活用し、細胞検査の完全自動化と標準化に大きく貢献したいとしている。